

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 022	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 ニンニクの春腐病、軟腐病対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当JAではニンニクの乾燥機を導入し、普及拡大に向け取り組みをしておりますが、植付後の軟腐病や収穫間際の春腐病により収量の減少が散見されます。土壌消毒やローテーションでの葉散等、被害を減らす対策を検討願います。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 診断・同定及び防除技術の確立 ウ 難防除病害虫に対する防除方法の確立 (エ) ニンニク春腐病の防除適期の検討(平成25年度)、(イ) ニンニク春腐病の防除法(平成26～27年度)		
対応の内容等	ニンニク春腐病と軟腐病は、共に細菌が原因となって生じる病害で、一般的に前者は気温が10℃前後から20℃までに、後者は20℃以上で発生します。 ニンニク春腐病は上記試験研究課題で実施済みです。さらに、青森県の報告(山下ら(2011))などから、①年内から防除を始めると防除効果が高い、②銅剤では降雨前散布で発生が抑制される、③強い降雨(20mm前後)が数回あると多発する等の情報があります。また、軟腐病菌対策は春腐病菌の防除対策に続けて、一般的な細菌病対策が有効で、近年被害が増加しているネギアザミウマの食害痕からも細菌性の病害はニンニクに侵入しますので、虫害対策も必要です。具体的な対策については、足柄地区事務所普及指導課より情報提供します。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			